

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

クラレグループ人権方針

トップステートメント

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

クラレグループのマテリアリティ

Planet

Product

PSA (Portfolio Sustainability Assessment) システム

サプライチェーンマネジメント

品質マネジメント

製品安全・化学物質管理

物流安全

サステナビリティ中期計画 Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表 (内容索引)

クラレレポート (統合報告書) / サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ

Product

「PASSION 2026」期間中の重点施策目標と2024年度の実績

Product	ベンチマーク	2024年度		2025年度	2026年度	2027年以降
		目標	実績	目標	中期計画	中長期計画
自然環境・生活環境貢献製品売上高比率	2020年 46%	57%	58%	61%	60%	—
(内、自然環境貢献製品比率)	(16%)	(25%)	(26%)	(28%)	(27%)	—
(内、生活環境貢献製品比率)	(30%)	(32%)	(32%)	(33%)	(33%)	—
全売上高におけるPSA評価のカバー率	—	80%	81%	83%	—	—

PSA (Portfolio Sustainability Assessment) システム

サプライチェーンマネジメント

品質マネジメント

製品安全・化学物質管理

物流安全

サステナビリティ中期計画 Product

物流安全

クラレは物流事故による社会的被害を防止するため、製品の輸送、保管面での物流安全確保の活動を継続して実施しています。

従来の『ホワイト物流』の取り組みに加え、ITツールの導入や「物流の2024年問題」への対応を通じて、トラック荷待ち時間の削減、パレットの活用推進、荷役作業時の安全対策および危険作業回避などによりドライバーや作業者の負荷を軽減し、物流安全の向上に努めています。

物流協力会社との協働はクラレの物流安全活動の中でも特に重要です。2024年は東京本社にて40回目となる物流安全協議会を開催し、事故事例の共有と対策の水平展開、事故発生時の緊急対応体制などについて協議しました。また、各事業所でも物流協力会社と安全協議会などの活動を行っており、課題やトラブル・ヒヤリハット事例の共有、物流現場での危険作業の点検など、物流安全・品質管理体制の強化に取り組んでいます。

引き続き物流安全の確保に重点を置き、重大事故発生ゼロを目標に、社内外関係各所と連携していきます。

『ホワイト物流』への取り組み

2022年にクラレは経団連会長、日商會頭、連合會長および関係大臣（内閣府、経産省、厚労省、農水省、国交省）をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設された「パートナーシップ構築宣言」の趣旨に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。この「パートナーシップ構築宣言」の個別項目にも明示しているように、クラレは2019年9月30日に『ホワイト物流』推進運動に賛同し、以下のとおり自主行動宣言を行いました。『ホワイト物流』推進運動とは、深刻化するトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的として、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化や、女性や60代の運転者なども働きやすい労働環境の実現に取り組む運動です。クラレはその活動を広めるべく、クラレ社内と取引先各社に『ホワイト物流』推進運動について宣言内容を共有し、課題解決に向けた取り組みを進めています。

クラレの『ホワイト物流』自主行動宣言

クラレは、『ホワイト物流』推進運動へ賛同し、主に運送内容の見直しと安全の確保を中心に以下の自主行動を宣言します。

1.物流の改善提案と協力：	物流会社からの改善提案に真摯に協議に応じます。
2.パレット等の活用：	荷役時間の軽減を図ります。

3.保管場所の集約：	複数箇所での積込を無くし、拘束時間短縮と効率改善を図ります。
4.輸送効率改善：	トラックから船や鉄道へのモーダルシフトを一層拡大します。
5.混雑回避：	京浜港の交通混雑を回避します。 (鹿島事業所の製品輸出港を京浜港から鹿島港に切替える)
6.物流システムの標準化：	WEBによる出荷情報を事前提供し、輸送手配を容易にします。
7.荷役作業時の安全対策：	危険物の出荷・充填設備を改善し、手順を見直します。



物流安全協議会（於：鹿島事業所）にて危険物製品の輸送に用いるISOコンテナについて勉強会を実施



安全衛生協議会 輸送・作業分科会（於：新潟事業所）